



**ECO&ECO-V**

サーマルカメラ




ユーザーマニュアル



お問い合わせ先

## 安全上の指示

本書で使用されている記号は以下のように定義されます。

記号の	説明
 危険	回避しないと、死亡または重傷を招く可能性のある危険な状況を示します。
 注意	潜在的に危険となりうる状況を表しており、防止できなかった場合、機器の損傷、データの消失、性能劣化など、予測不能な結果が生じる可能性があります。
 注意	本文中の重要点を強調したりそれを補う追加情報を提供します。

これらの指示は、ユーザーが製品を正しく使用し、危険や財産損失を回避できるように保証することを目的としています。ご使用前に、安全情報をよくお読みください。

### 法規と規則

- ◆ 製品の使用にあたって、お住まいの地域の電気安全性に関する法令を厳密に遵守する必要があります。

### 輸送

- ◆ 輸送中は、デバイスを元のパッケージまたは類似したパッケージに梱包してください。
- ◆ 開梱後は、後日使用できるように、梱包材を保存しておいてください。不具合が発生した場合、元の梱包材を使用して工場に機器を返送する必要があります。元の梱包材を使用せずに返送した場合、破損が発生する恐れがありますが、その際に、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 製品を落下させたり、物理的な衝撃を与えないでください。本器を電磁妨害から遠ざけてください。

## 電源

- ◆ 入力電圧は、IEC62368 規格の限定電源（5V DC、2A）を満たす必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- ◆ プラグが適切に電源ソケットに接続されていることを確認してください。
- ◆ 1台の電源アダプターに2台以上の機器を接続してはなりません。過負荷によって過熱したり、火災発生の危険があります。
- ◆ 正規メーカーより供給された電源アダプターを使用してください。電源の詳細な要件については、製品仕様を参照してください。

## バッテリー

- ◆ 注意: バッテリーを不正な種別のものと交換すると爆発の危険があります。同一または同等のタイプのものとのみ交換してください。バッテリーのメーカーによって提供された指示に準拠して、使用済みバッテリーを処分してください。
- ◆ 不正な種別のバッテリーとの不適切な交換は、安全装置を無効にする場合があります（たとえば、一部のリチウムバッテリータイプの場合など）。
- ◆ バッテリーを火や高温のオープンの中に投入したり、バッテリーを機械的に粉砕したり切断したりしないでください。爆発の原因となることがあります。
- ◆ バッテリーを非常に高温の環境に放置しないでください。爆発や、可燃性の液体およびガスの漏出を引き起こす可能性があります。
- ◆ バッテリーを極端に低い空気圧下に置かないでください。爆発したり、可燃性の液体やガスが漏出する恐れがあります。
- ◆ バッテリーのメーカーによって提供された指示に準拠して、使用済みバッテリーを処分してください。
- ◆ 内蔵バッテリーは取り外しできません。修理については必要に応じてメーカーにお問い合わせください。
- ◆ バッテリーを長期保存する場合は、半年に一度はフル充電して、バッテリーの品質を保つようにしてください。これを怠った場合、破損の原因となります。
- ◆ 認定メーカーのバッテリーをご使用ください。バッテリーの詳細な要件については、製品仕様を参照してください。

- ◆ 付属の充電器で種類が異なるバッテリーを充電しないでください。充電中は、充電器の2m以内に可燃物がないことをご確認ください。
- ◆ 暖房器具や火気の近くにバッテリーを置かないでください。直射日光を避けてください。
- ◆ 化学熱傷の恐れがありますので、絶対にバッテリーを飲み込まないでください。
- ◆ お子様の手の届くところにバッテリーを置かないでください。
- ◆ デバイスの電源がオフで、バッテリーが満充電されている状態では、時間設定は60日間保持できます。
- ◆ 標準の電源アダプターは5Vです。

## メンテナンス

- ◆ 製品が正しく動作しない場合、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。承認されていない修理や保守行為による問題について、当社はいかなる責任も負いません。
- ◆ 必要ならば、エタノールを少量含ませたきれいな布でデバイスを静かに拭きます。
- ◆ メーカーが指定していない方法で使用した場合、デバイスが提供する保護機能が損なわれる恐れがあります。
- ◆ 本カメラは、画質と測定精度を最適化するために、定期的に自己キャリブレーションを実行します。このプロセスで、画像が短時間静止し、検知器の前でシャッターが動く際に「カチッ」という音が聞こえます。起動中や、非常に低温または高温の環境では、自己キャリブレーションがより頻繁に実行されます。これは、カメラの最適な性能を確保するための正常な動作です。

## キャリブレーションサービス

- ◆ 年に一度、キャリブレーションのためにデバイスを返送することをお勧めします。メンテナンス拠点については、最寄りの販売店にお問い合わせください。より詳細なキャリブレーションサービスについては、<https://www.hikmicrotech.com/en/calibrationservices/2> を参照してください。

## 使用環境

- ◆ 実行環境がデバイスの要件を満たしていることを確認します。動作温度は-10°C～50°C (14°F～122°F)で、動作湿度は95%以下です。
- ◆ デバイスは、海拔2,000メートル以下の地域でのみ安全に使用することができます。
- ◆ デバイスは、乾燥して換気の良い環境に配置してください。
- ◆ デバイスを強い電磁波や埃の多い環境にさらさないでください。
- ◆ レンズを太陽や極端に明るい場所に向けないでください。
- ◆ レーザー装置を使用している場合は、デバイスのレンズがレーザービームにさらされていないことを確認してください。焼損するおそれがあります。
- ◆ レンズを太陽や極端に明るい場所に向けないでください。
- ◆ このデバイスは屋内および屋外での使用に適していますが、濡らさないようにご利用ください。
- ◆ 防水レベルはIP54です。
- ◆ 汚染度は2です。

## テクニカルサポート

<https://www.hikmicrotech.com/en/contact-us.html>ポータルは、HIKMICROのお客様がHIKMICRO製品を最大限に活用する上で役立ちます。ポータルから、サポートチーム、ソフトウェアとドキュメント、サービスの連絡先などにアクセスできます。

## 緊急

- ◆ デバイスから煙や異臭、異音が発生した場合、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。

## レーザー光に関する補足警告



警告：デバイスから放射されるレーザー光は、目の怪我や皮膚の焼損、発火性物質の原因となることがあります。レーザーを目に直接当てないでください。補光機能を有効にする前に、レーザーレンズの前に人や可燃性物質がないことを確認してください。波長は650nmで、出力は

1mW未満です。レーザーはIEC60825-1：2014規格に適合しています。

**レーザーのメンテナンス：**レーザーを定期的にメンテナンスする必要はありません。レーザーが機能しない場合は、保証期間中にレーザーアセンブリを工場で交換する必要があります。レーザーアセンブリを交換する際は、デバイスの電源をオフにしてください。注意 - ここで指定されている以外の制御、調整、または手順の実行などを行うと、危険な放射線にさらされる可能性があります。

## メーカー住所

310052 中国浙江省杭州市滨江区西興地区段鳳通り399号2棟ユニットB 313号室

Hangzhou Microimage Software Co., Ltd.

## 法令順守通知

本サーマルシリーズ製品は、アメリカ合衆国、欧州連合、英国などワッセナー・アレンジメントの会員国を含むがそれだけに限定されない各国・各地域で、輸出管理の対象となる可能性があります。サーマルシリーズ製品を外国へ転送・輸出・再輸出する場合は、貴社の法務・コンプライアンス部門もしくは自国の政府機関に、輸出ライセンスの条件についてご確認ください。

# 目次

<b>第 1 章 概要</b> .....	<b>1</b>
1.1 ユーザーへの重要な通知 .....	1
1.2 主な機能 .....	1
1.3 外観.....	2
<b>第 2 章 準備</b> .....	<b>5</b>
2.1 デバイスの充電 .....	5
2.2 電源オン/オフ.....	5
2.2.1 自動電源オフの設定.....	6
2.2.2 オートスリープを設定する .....	6
2.3 ライブビュー .....	6
<b>第 3 章 表示設定</b> .....	<b>8</b>
3.1 画像モードの設定.....	8
3.2 パレットの設定 .....	9
3.3 レベルとスパンの設定.....	9
3.4 色分布.....	9
3.5 オンスクリーン情報を表示する.....	10
<b>第 4 章 温度測定</b> .....	<b>11</b>
4.1 温度測定パラメーターの設定 .....	11
4.2 測定ツールの設定.....	11
4.3 温度アラーム設定.....	12
<b>第 5 章 スナップショットのキャプチャと管理</b> .....	<b>13</b>
5.1 スナップショット撮影.....	13

---

5.2	スナップショットの表示	13
5.3	スナップショットのエクスポート	14
<b>第 6 章</b>	<b>PCへのデバイススクリーンのキャスト</b>	<b>15</b>
<b>第 7 章</b>	<b>メンテナンス</b>	<b>16</b>
7.1	時刻と日付の設定	16
7.2	言語を設定する	16
7.3	操作ログを保存	16
7.4	ストレージのフォーマット	16
7.5	デバイス情報を表示	17
7.6	アップグレード	17
7.7	デバイスの復元	17
<b>第 8 章</b>	<b>FAQ</b>	<b>18</b>
8.1	よくある質問 (FAQ)	18



# 第1章 概要

## 1.1 ユーザーへの重要な通知

このマニュアルでは、複数のカメラモデルの機能について説明します。シリーズのカメラモデルには異なる機能があるため、このマニュアルには特定のカメラモデルに当てはまらない記述や説明が含まれている場合があります。

シリーズのすべてのカメラモデルが、モバイルアプリケーション、ソフトウェア、およびこのマニュアルに記載されている（または記載されていない）すべての機能をサポートしているわけではありません。詳細については、アプリケーションおよびソフトウェアのユーザーマニュアルを参照してください。

このマニュアルは定期的に更新されます。つまり、このマニュアルには、最新のファームウェア、モバイルクライアント、およびソフトウェアの新機能に関する情報が含まれていない可能性があります。

## 1.2 主な機能

### 温度測定

デバイスはリアルタイムで温度を検出し、画面に表示します。

### パレット

デバイスは複数のパレットをサポートし、鮮やかな画像を得るためにさまざまなパレットを選択できます。

### SuperIR

デバイスは**SuperIR**をサポートし、オブジェクトの輪郭を強化して画像表示を改善します。

## クライアントソフトウェアの接続



HIKMICROアナライザー

UVCアラームクライアン

ト

画像を分析するには、HIKMICRO Analyzer

(<https://www.hikmicrotech.com/en/industrial-products/hikmicro-analyzer-software.html>) をダウンロードします。

カメラのリアルタイムライブビューをキャストするには、

UVCアラームクライアント

(<https://www.hikmicrotech.com/en/industrial-products/uvc-client/>) をダウンロードします。

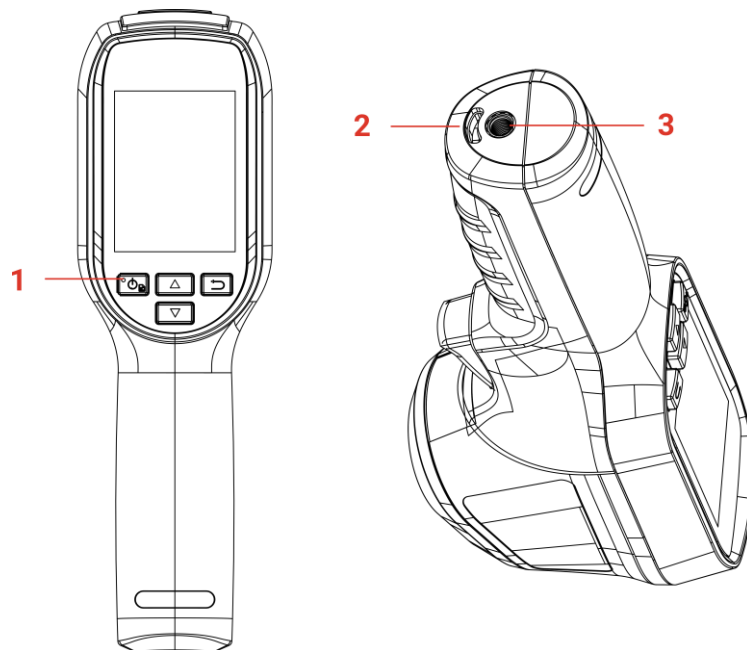


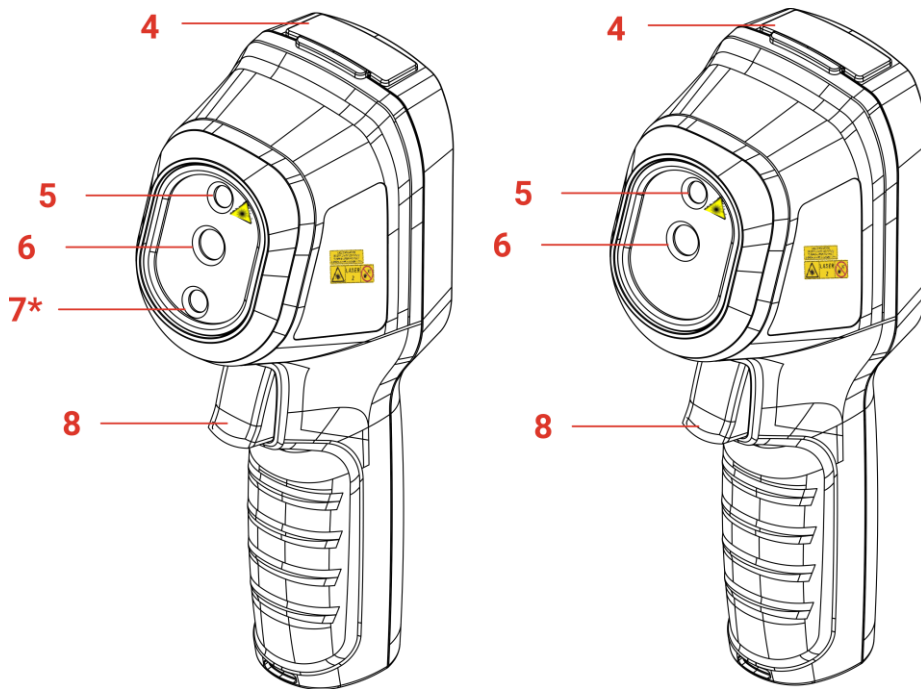
注意

このシリーズのすべてのカメラモデルが、モバイルアプリケーション、ソフトウェア、およびこのマニュアルに記載されている（または記載されていない）すべての機能をサポートしているわけではありません。詳細については、アプリケーションおよびソフトウェアのユーザーマニュアルを参照してください。

## 1.3 外観









カメラのモデルによって外観やコンポーネントが異なる場合があります。実際の製品を参照してください。





番号	コンポーネント	機能
1	充電インジケータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 赤色で点灯：充電中です。</li> <li>◆ 緑色で点灯：充電完了。</li> </ul>
2	リストストラップ穴	リストストラップを装着します。
3	三脚マウント	UNC 1/4"-20三脚に接続しています。
4	Type-Cインターフェイス	バッテリーの充電またはファイルのエクスポートを行います。
5	レーザー	レーザー光でターゲットの位置を特定します。
6	サーマルレンズ	サーマル画像を表示します。
7*	ビジュアルレンズ*	ビジュアル画像を表示します（特定のモデルでのみサポートされます）。
8	起動	<p>ライブビューで：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 短押し：スナップショット撮影。</li> <li>◆ 長押し：レーザー光でターゲットを見つけ、リリースしてスナップショットを撮影します。</li> </ul>

メニューモードでは、トリガーを押すとライブビューに戻ります。

ボタン	機能
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 長押し：電源オン/オフ</li> <li>◆ 短押し：メニューを表示するか、操作を確認します。</li> </ul>
	メニューを終了するか、前のメニューに戻ります。
	メニューモードで：  と  を押して、パラメーターを選択します。 ライブビューモードで：  を押して画像モードを切り替えます（特定のモデルでのみサポートされます）。  を押してパレットを切り替えます。
	

#### 注意

- ◆ 外観およびボタン機能はモデルによって異なります。
- ◆ ビジュアルレンズは特定のモデルでのみサポートされます。実際のデバイスまたはデータシートを参照してください。
- ◆ 警告サインは、レーザーの横とデバイスの左側にあります。

#### 警告：

デバイスから放射されるレーザー光は、目の怪我や皮膚の焼損、発火性物質の原因となることがあります。レーザーを目に直接当てないでください。補光機能を有効にする前に、レーザーレンズの前に人や可燃性物質がないことを確認してください。波長は650nmで、出力は1mW未満です。レーザーはIEC60825-1：2014規格に適合しています。

## 第2章 準備

### 2.1 デバイスの充電

付属のUSBケーブルを差し込み、電源アダプターを使用して電源にデバイスを接続してバッテリーを充電します。他のメーカーのUSB-C～USB-Cケーブルは使用しないでください。

電源アダプター（別売り）は次の規格を満たす必要があります。

- ◆ 出力電圧/電流：5VDC、2A
- ◆ 最小電力出力：最大 10W

充電の電力インジケータの状態を確認します。

- ◆ 赤で点灯：正常に充電
- ◆ 赤で点滅：充電に異常あり
- ◆ 緑で点灯：満充電





#### 注意

- ◆ 本デバイスにはバッテリーが内蔵されています。デバイスを初めて充電する際には、デバイスの電源がオンになった状態でデバイスを3時間以上充電してください。
- ◆ カメラを長期間使用せずに過放電した場合は、電源を入れる前に少なくとも30分間充電することをお勧めします。
- ◆ 充電とデータ転送の両方にパッケージに付属のUSBケーブルを使用することをお勧めします。


### 2.2 電源オン/オフ

#### 電源オン


を6秒以上長押しして、デバイスの電源を入れます。デバイスのインターフェイスが安定すると、目標を観察できます。

 **注意** 電源を入れてからデバイスを使用できるようになるまで、30秒以上かかる場合があります。


## 電源オフ

デバイスの電源が入っているときにを約6秒間長押しすると、デバイスの電源が切れます。

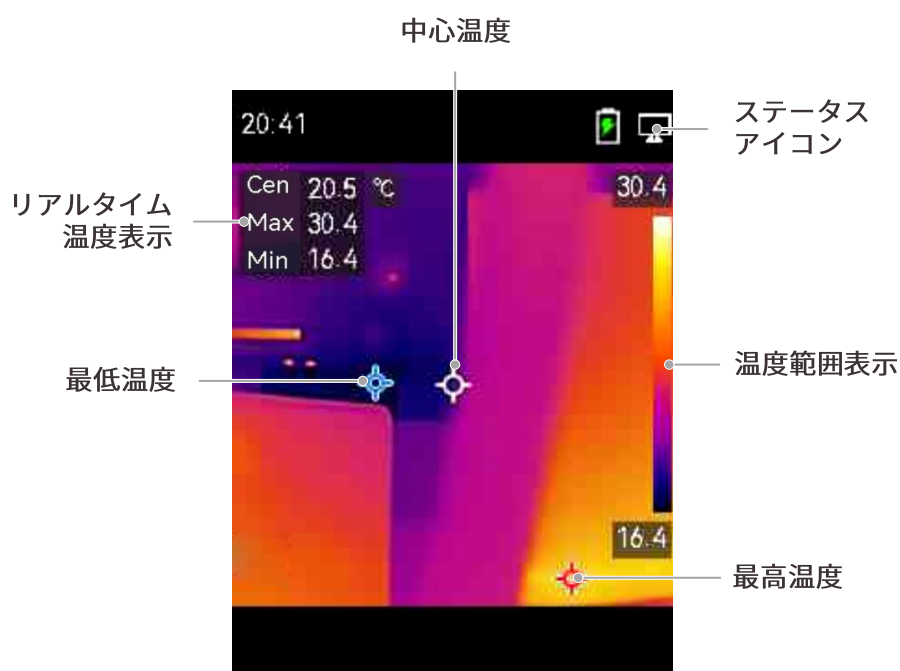
### 2.2.1 自動電源オフの設定

ライブビューインターフェイスでを押して詳細設定 > 自動電源オフを開き、必要に応じて、デバイスの自動シャットダウン時間を設定してください。

### 2.2.2 オートスリープを設定する

ライブビューインターフェイスで、を押して詳細設定 > オートスリープを開き、オートスリープまでの待ち時間を設定します。設定された待機時間以上デバイスのボタンが押されない場合、デバイスは自動的にスリープモードに移行します。ボタンを押してデバイスのスタンバイモードを解除します。

## 2.3 ライブビュー



**注意**


- ◆ このマニュアルは定期的に更新されるため、ライブビューは特定のカメラモデルのバージョンと多少異なる場合があります。実際のカメラを参照してください。
- ◆ 本カメラは、画質と測定精度を最適化するために、定期的に自己キャリブレーションを実行します。このプロセスで、画像が短時間静止し、検知器の前でシャッターが動く際に「カチッ」という音が聞こえます。デバイスのキャリブレーション中は、画面の上部中央に「キャリブレーション中・・・」というプロンプトが表示されます。起動中や、非常に低温または高温の環境では、自己キャリブレーションがより頻繁に実行されます。

## 第3章 表示設定


### 3.1 画像モードの設定

デバイスの画像モードを設定できます。画像モードは一部のモデルでのみサポートされます。実際のデバイスまたはデータシートを参照してください。

1. 次の方法で画像モードを選択します。

- ◆ 設定 > 画像設定 > 画像モードに移動し、優先する画像モードを選択します。
- ◆ ライブビューで  押すと、画像モードが切り替わります。



画像モード	説明	例
サーマル	サーマルモードでは、デバイスはサーマルビューを表示します。	
フュージョン	対象物のサーマル画像に輪郭を付ける。この機能は、ビジュアルレンズを装備したモデルでのみサポートされます。	
可視光	対象物のビジュアル画像のみ。この機能は、ビジュアルレンズを装備したモデルでのみサポートされます。	

2. フュージョンモードを選択する際は、サーマル画像とビジュアル画像が良好に重なるように、ターゲットまでの距離に応じて、画像設定 > 視差補正で距離を選択する必要があります。
3.  を押して、保存して終了します。










## 3.2 パレットの設定

パレットを使用すると、任意の色を選択できます。次の方法でパレットを切り替えることができます：

- ◆ 設定 > パレットに移動して好みのパレットを選択し、を押して保存して終了します。
- ◆ ライブビューでを押すとパレットが切り替わります。

## 3.3 レベルとスパンの設定

表示温度範囲を設定すると、パレットは温度範囲内のターゲットに対してのみ機能するようになります。レベルとスパンのパラメーターを調整すると、画像コントラストが改善されます。

1. ライブビューインターフェイスでを押して、メニューを表示します。
2. を押し、レベルとスパンを選択します。
3. 設定モードを選択し、を押して自動調整と手動調整を切り替えます。
  - ◆ 自動モードでは、デバイスは表示温度範囲を自動的に調整します。
  - ◆ 手動モードでパラメータを選択して設定インターフェイスに移動します。を押して最高温度または最低温度のロックを解除し、を押してロック解除される値を調整します。もしくは、最高温度または最低温度のロックを解除し、を押して、温度範囲を変えずに個々の温度の値を増減します。
4. を押して、保存して終了します。

## 3.4 色分布

色分布機能により、オートレベルとスパンでさまざまな画像表示効果が得られます。さまざまなアプリケーションシーンに合わせて、リニアおよびヒストグラムの色分布モードを選択できます。

1. 画像設定 > 色分布を開きます。
2. 色分布のモードを選択します。

モード	説明	例
リニア	<p>リニアモードは、低温の背景で小さな高温のターゲットを検出する場合に使用します。リニア色分布では、高温のターゲットが強調され、より詳細に表示されるため、ケーブルコネクタなどの小さな高温欠陥領域を確認するのに適しています。</p>	
ヒストグラム	<p>ヒストグラムモードは、広い領域内の温度分布の検出に使用されます。ヒストグラム色分布では、高温のターゲットが強調され、領域内の低温オブジェクトの詳細も保持されるため、亀裂などの小さな低温ターゲットを発見するのに適しています。</p>	

3. くをタップして保存し、終了します。



**注意**

この機能はオートレベルとスパンでのみサポートされています。

### 3.5 オンスクリーン情報を表示する

設定 > 表示設定を開き、オンスクリーン情報表示のオン/オフを切り替えます。






- ◆ パラメータ：目標の放射率、温度単位などの、温度測定パラメータです。
- ◆ ブランドロゴ：ブランドロゴは、画面の中央下に表示されるメーカーのロゴです。

## 第4章 温度測定

温度測定機能は、シーンの温度をリアルタイムで表示します。デバイスは画面の左側に測定結果を表示します。この機能はデフォルトでオンになっています。




### 4.1 温度測定パラメーターの設定

温度測定パラメータを設定して、温度測定の精度を向上させることができます。

1. ライブビューインターフェイスでを押して、メニューを表示します。
2. ボタンを押して、希望のパラメーターを選択します。
  - ◆ 温度範囲：温度測定範囲を選択します。自動切替モードでは、デバイスは温度を検出し、温度測定範囲を自動的に切り替えることができます。
  - ◆ 放射率：カスタムを有効にし、を押して、放射率を選択して、ターゲットの放射率を、熱放射としてエネルギーを放射する有効性として設定します。もしくは、プリセットされた放射率が選択できます。
  - ◆ 距離：対象とデバイスの間の距離を設定します。
  - ◆ 単位：表示設定 > 単位に移動し、を押して温度単位を設定します。
3. を押して、保存して終了します。

### 4.2 測定ツールの設定

デバイスはシーン全体の温度を測定し、シーンの中心、ホットスポット、コールドスポットを表示させることができます。

1. ライブビューインターフェイスでを押して、メニューを表示します。
2. を押して、表示設定を選択します。
3. 希望するスポットを選択してその温度を表示し、を押してそれを有効にしてください。
  - ◆ 高：シーン内のホットスポットを表示し、最高温度を表示します。

- ◆ 低：シーン内のコールドスポットを表示し、最低温度を表示します。
- ◆ センター：シーンの中心スポットを表示し、中心温度を表示します。





4. を押して、保存して終了します。

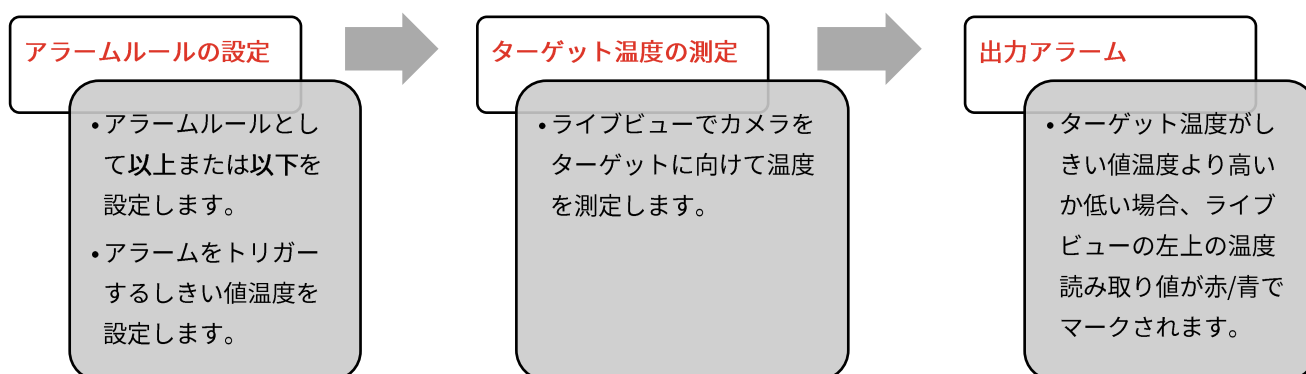
## 結果

デバイスは、ライブビューインターフェイスの左上にリアルタイムの温度を表示します。

## 4.3 温度アラーム設定

アラームルールを設定すると、温度がルールに合致した時、デバイスがアラームを発生します。

1. ライブビューインターフェイスでを押して、メニューを表示します。
2. を押してアラームを選択します。
3. を押して、機能を有効にします。
4. 測定を選択して、アラームルールを設定します。アラームしきい値を選択して、しきい値温度を設定します。
5. を押して、保存して終了します。



## 第5章 スナップショットのキャプチャと管理

### 5.1 スナップショット撮影

ライブビューでスナップショットが撮影できます。スナップショットは自動的にアルバムに保存されます。








1. ライブビューインターフェイスでは、次の方法でスナップショットを撮影できます。
  - ◆ ライブビューでトリガーを押して、スナップショットを撮影します。
  - ◆ ライブビューでトリガーを押し続けてレーザー光でターゲットを見つけ、トリガーから指を離してスナップショットを撮影します。

**注意**

- ◆ 詳細設定 > レーザーに移動して、レーザー光のオン/オフを切り替えます。
- ◆ デバイスが PC に接続されている場合はスナップショットを撮影できません。

2. オプション: 設定 > **SuperIR** に移動し、キャプチャする前にメニューで **SuperIR** を有効にして、スナップショット上のオブジェクトの輪郭を強化します。
3. オプション: ビジュアル画像を個別に保存したい場合は、設定 > キャプチャ設定に移動してビジュアル画像の保存を有効にします (ビジュアルレンズを搭載したモデルでのみサポートされます)。

### 5.2 スナップショットの表示

1. ライブビューインターフェイスで  を押して、メニューを表示します。
2.  を押してアルバムに移動します。
3.  を押して画像を選択し、 を押して表示します。
4. オプション: 画像表示インターフェイスで  を押すと、画像を削除できます。  を押して画像を切り替えます。
5.  を押すと終了します。

## 5.3 スナップショットのエクスポート

1. 付属の USB ケーブルを使用してデバイスを PC に接続し、デバイスのプロンプトで **USB ドライブモード** を選択します。
2. 検出したディスクを開き、ファイルをコピーして PC に貼り付け、ファイルを表示します。
3. PC からデバイスを取り外します。

**注意**

初回接続時にドライバーが自動的にインストールされます。

## 第 6 章 PC へのデバイススクリーンのキャスト

本デバイスは、UVCプロトコルベースのクライアントソフトウェアまたはプレイヤーによるPCへのスクリーンキャストに対応しています。付属の USB ケーブルを介してデバイスをPCに接続すると、デバイスのリアルタイムライブビューをPCにキャストできます。


1. UVC プロトコルベースのクライアントソフトウェアを公式 Web サイトからダウンロードします。

 <https://www.hikmicrotech.com/en/industrial-products/uvc-client/>

2. 付属の USB ケーブルを使用してデバイスを PC に接続し、デバイスのプロンプトで USB モードとして **USB** キャスト画面を選択します。スクリーンキャストの間は、USB 接続を介してファイルをエクスポートすることはできません。
3. PC で UVC アラームクライアントを開きます。

## 第7章 メンテナンス

### 7.1 時刻と日付の設定

ライブビューインターフェイスでを押して、表示設定 > 時刻と日付に移動し、情報を設定します。

### 7.2 言語を設定する

詳細設定 > 言語に移動し、必要な言語を選択します。

### 7.3 操作ログを保存

トラブルシューティングの場合にのみ、デバイスは操作ログを収集し、ストレージに保存できます。この機能は、設定 > 詳細設定 > ログの保存でオン/オフを切り替えることができます。

付属のUSB-C～USB-Aケーブルを使用してカメラをPCに接続し、必要に応じてカメラのUSBモードとしてUSBドライブを選択して、カメラのルートディレクトリに操作ログをエクスポートできます。

### 7.4 ストレージのフォーマット

1. ライブビューインターフェイスで、を押して、詳細設定 > ストレージのフォーマットに移動します。
2. を押し **OK** を選択して、ストレージのフォーマットを開始します。

**注意**

初めて使用する前にストレージをフォーマットしてください。



## 7.5 デバイス情報を表示

詳細設定 > バージョン情報に移動して、ファームウェアのバージョン、シリアル番号などのカメラの詳細情報を表示します。

## 7.6 アップグレード

始める前に:

まず、公式サイトからアップグレードファイルをダウンロードします。


1. 付属の USB ケーブルを使用してデバイスを PC に接続し、デバイスのプロンプトで USB モードとして **USB ドライブ** を選択します。
2. アップグレードファイルをコピーして、デバイスのルートディレクトリに配置します。
3. PC からデバイスを取り外します。
4. デバイスを再起動すると、自動的にアップグレードされます。アップグレードのプロセスがメインインターフェイスに表示されます。



**注意**

アップグレード後は、自動的に再起動します。現在のバージョンは、詳細設定 > バージョン情報で確認できます。

## 7.7 デバイスの復元

ライブビューインターフェイスで  を押して、詳細設定 > デバイスの復元に移動し、デバイスを初期化してデフォルト設定を復元します。

## 第8章 FAQ

### 8.1 よくある質問 (FAQ)

以下のQRコードをスキャンすると、デバイスの一般的なFAQを取得できます。



## 法的情報


© Hangzhou Microimage Software Co., Ltd. 禁・無断複製。

### 本マニュアルについて

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明のみを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されることがあります。このマニュアルの最新版は、HIKMICRO Webサイト (<http://www.hikmicrotech.com>)でご確認ください。

本マニュアルは、本製品をサポートする訓練を受けた専門家の指導・支援を受けた上でご使用ください。

### 商標

 **HIKMICRO** およびその他のHIKMICROの商標とロゴは、様々な裁判管轄地域におけるHIKMICROの所有物です。

言及されているその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

### 免責事項

適用法で認められる最大限の範囲で、本マニュアルおよび説明されている製品（ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、[現状のまま]および[すべての欠陥とエラーがある]状態で提供されます。HIKMICROでは、明示あるいは黙示を問わず、商品性、満足な品質、または特定目的に対する適合性などを一切保証しません。本製品は、お客様の自己責任においてご利用ください。HIKMICROは、本製品の利用に関連する事業利益の損失や事業妨害、データの損失、システムの障害、文書の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して、それが契約に対する違反、不法行為(過失を含む)、製品の責任または製品の使用に関連するものであっても、たとえHIKMICROがそうした損害および損失について通知を受けていたとしても、一切の責任を負いません。

お客様は、インターネットにはその性質上固有のセキュリティリスクがあることを了解し、異常動作、プライバシーの流出、またはサイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウィルス感染

等のインターネットセキュリティリスクによる損害について、HIKMICROは一切責任を負いません。ただし、必要に応じてHIKMICROは適時技術的サポートを提供します。

お客様には、すべての適用法に従って本製品を利用し、さらにご自分の利用法が適用法を順守していることを確認する責任があります。特に、肖像権、知的財産権、またはデータ保護等のプライバシー権を非限定的に含むサードパーティの権利を侵害しない手段で本製品を利用する責任があります。大量破壊兵器の開発や生産、化学兵器・生物兵器の開発や生産、核爆発物や危険な核燃料サイクル、または人権侵害に資する活動を含む、禁じられている最終用途の目的で本製品を使用してはなりません。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、後者が優先されます。

## 規制情報

これらの条項は、対応するマークまたは情報が付された製品にのみ適用されます。

### EU 適合宣言



本製品および同梱の周辺機器（適用可能な場合）には「CE」マークが付いており、指令2014/30/EU（EMCD）および指令2011/65/EU（RoHS）の下に記載されている該当欧州統一規格に準拠しています。

注意：入力電圧が50～1000VACまたは75～1500VDC以内の製品は指令2014/35/EU（LVD）に準拠し、それ以外の製品は指令2001/95/EC（GPSD）に準拠しています。参照として、具体的な電源情報を確認してください。

付属の電源アダプターがない場合は、デバイスに認定メーカーが供給する電源アダプターをご使用ください。電源の詳細な要件については、製品仕様を参照してください。

付属のバッテリーがない場合は、デバイスに認定メーカーが供給するバッテリーをご使用ください。バッテリーの詳細な要件については、製品仕様を参照してください。



指令2012/19/EU (WEEE 指令)：この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については以下を参照してください：[www.recyclethis.info](http://www.recyclethis.info)



指令2006/66/ECおよびその修正案2013/56/EU (バッテリー指令)：本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルする

ために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については以下を参照してください：[www.recyclethis.info](http://www.recyclethis.info)



See the World in a New Way



HIKMICRO Thermography



Support@hikmicrotech.com



HIKMICRO Thermography



hikmicro\_thermography



HIKMICRO



<https://www.hikmicrotech.com/>